

第 18 回南日本ジュニア美術展 開催要項

南日本ジュニア美術展は、長年にわたって鹿児島県民に親しまれてきた南日本美術展、東光展、二科展に付随する３つのジュニア展を統合、発展させて 2008 年に誕生した子どもたちの総合美術展です。海老原喜之助氏、吉井淳二氏らが育てた南日本美術展は、数多くの人材を輩出したことで「南日本美術学校」とも呼ばれますが、児童生徒らに創造性を発揮する新たな場を提供することで、この“学校”のさらなる飛躍につなげたいと考えています。

会 期：令和 7 年 9 月 1 9 日（金）～9 月 2 8 日（日） ※ 2 2 日（月）は休館
午前 9 時 3 0 分～午後 6 時（最終日は午後 4 時終了）
会 場：鹿児島市立美術館
鹿児島市城山町 4－3 6 TEL 0 9 9－2 2 4－3 4 0 0
入場料：一般・大学生 1,0 0 0 円
高校生以下無料

■主 催 南日本新聞社
■特別協賛 昂
■後 援 鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、鹿児島県保育連合会、鹿児島県私立幼稚園協会
■部 門 平面部門（水彩・クレヨン・油彩・版画・デザインなど）
立体部門（粘土・陶芸・木彫など）
■応募資格 鹿児島県内の保育園（所）・幼稚園の園児、小中高校の児童・生徒に限る
■出 品 料 無料
■搬 入 令和 7 年 9 月 1 2 日（金）、1 3 日（土）午前 1 0 時～午後 4 時
鹿児島市立美術館搬入口
※ 送付搬入は中学生以下の平面のみ受け付ける
※ 令和 7 年 9 月 8 日（月）から 9 月 10 日（水）＝下記まで必着＝
〒 8 9 0－8 6 0 3 鹿児島市与次郎 1－9－3 3
南日本新聞社事業部「南日本ジュニア美術展」係
TEL 0 9 9（8 1 3）5 0 5 2

■審査委員 武 田 信 雄 氏（東光会会員）
祝 迫 正 豊 氏（二科会会員）
日 置 誠 氏（南日本美術展委嘱作家）
宮 藺 広 幸 氏（霧島アート森学芸課長）
中 野 裕 子 氏（南日本美術展第 23 回吉井賞受賞者）
花 山 潤 治 氏（鹿児島市立美術館学芸アドバイザー）
■表 彰 南日本新聞社賞、昂賞・優秀賞、特選、入選、学校・団体賞
■発 表 令和 7 年 9 月 1 7 日（水）付の南日本新聞紙上（予定）
※入選については南日本新聞社ホームページでの発表となります

■出品規定 作品は令和 7 年 4 月以降に制作された未発表作品（公募展に応募していないもの）に限る。出品は園・学校または絵画教室、陶芸教室、NPO などの団体単位。個人での応募は受け付けない。いずれも必ず所定の出品者名簿（担当者印を押印）を添えて申し込む。
※ 出品者名簿、作品票は南日本新聞社ホームページの「お知らせ」からダウンロードできる
【平面】保育園（所）・幼稚園または団体については全体で 20 点以内、小中学校は各学年 10 点以内。高校は全体で 30 点以内。1 人 1 点だけ応募できる
【立体】小学生以上の作品。小中学校は各学年 3 点以内。高校、任意団体は全体で 10 点以内。1 人 1 点だけ応募できる
■規 格 【平面】水彩・クレヨン・油彩・版画・デザイン（C G も可）など
① 大きさは中学生以下が四つ切り以内、高校生は 20 号以内。油彩は必ず木・アルミ等の仮縁で装う。作品の種類にかかわらず、ガラスを使った額装は不可
② 材料は自由
③ 所定の作品票に園・学校名、学年、氏名、題名などを明記し、作品裏の中央に貼り付ける
【立体】粘土・陶芸・木彫など
① 大きさは縦×横×奥行きが各 50 センチ以内、重さは 20 キロ以下をめどとする（台座を含む）
② 移動・展示に耐える安定した定形作品とする。材料については、下記の「注意」事項を確認すること
③ 所定の作品票に学校名と学年、氏名、題名などを明記、作品正面の底面（貼付方法は作品票参照）に貼り付ける

■搬 出 選外作品＝令和 7 年 9 月 1 9 日（金）、2 0 日（土）午前 1 0 時～午後 4 時
鹿児島市立美術館搬入口
入選作品＝令和 7 年 9 月 2 8 日（日）午後 5 時 3 0 分～午後 6 時
9 月 2 9 日（月）午前 1 0 時～午後 4 時
鹿児島市立美術館搬入口 ※ 賞状は搬出の際にお渡しします
※ 中学生以下の平面について、返却方法が出品者名簿に未記入の場合、ゆうパック着払いで返却します
※ すべての立体作品と高校生の作品は「指定日のみ」の搬出になる
※ 中学生以下の平面に限り、選外作品を展覧会期中に会場受付でも受け取れる
※ 担当者は必ず出品したすべての作品を搬出すること。作品受け取りのない園・学校は、次回以降の出品を受け付けません
※ 受け取りのない作品については責任を負いません

注 意
① 危険物や異臭、腐敗のおそれのある作品、破損しやすいもの、液体や土など害虫が付着しているおそれのあるもの等を使用する作品、生もの（生木、流木、落ち葉、ドングリ ほか）や植物、ドライフラワー、殺菌処理のされていない天然木、食品を含むもの、塗料の乾いていないものなど、施設管理上支障のある作品、美術品・文化財への虫菌害のおそれのある作品は、主催者および美術館の判断により受け付けないことがある。また、作品の保管については主催者で十分注意するが、やむをえず生じた破損や紛失については責任を負わない
② 発表済みの作品、盗作の疑いのある作品など主催者が不適当と判断した場合は賞を取り消す場合があるので、作者本人はもちろん、指導者・担当者が十分注意すること
③ 出品申込書に記入された個人情報、本展の運営だけに使用する